

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

- 国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
 アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
 西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
 京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ~世界のワイズが輪になって~
 ネット主題 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~

奉仕者たちも品位のある人でなければなりません。二枚舌を使わず、大酒を飲まず、恥ずべき利益をむさぼらず、清い良心の中に信仰の秘められた真理を持っている人でなければなりません。

聖句

テモテの信徒への手紙ー 第3章8.9節

「やってみなくては！」

ワイズリーダーシップ開発委員長 井之上 温代



私は数年前EMC事業主任を拝命した時に、皆様に目を閉じていただき問うたことがあります。「ワイズは、好きですか？」全ての方が挙手。「ワイズを辞めたいですか？」手を挙げた人はゼロでした。この問いが語るようにみんな「ワイズメンズクラブ」が好きなのです。そしてもっともっと好きになりたいと思っています。

しかし、想いだけではクラブは、到底生き残れません。赤ん坊にミルクを飲ませるように愛情を注ぐ必要があります。ワイズを語る時「自己研鑽」という言葉をよく使います。胸に手を当て一度考えてみてください。あなたはいくつの「自己研鑽」が思い浮かぶでしょう。私ですか？ ワイズに入っていなかったら、人前で話すこともパソコンを操ることも全国に友達も出来なかったでしょう。そして家庭での会話も多くなり子どもたちやパートナーに与える影響も良くなります。

クラブ・部・区といろいろなお役がありますが、あなたにその役の依頼が来たらポジティブに引き受けることが出来ますか？得意じゃない分野のお役だったら尻込みするかもしれません。しかし、それでも「やってみなくては」分かりません。ひょっとしたら自分に合っているかもしれませんし、やれば得意の分野になることもあります。新しいメンバーの方も、「まだ入ってすぐだから」と引っ込まずにまずやってみることで。メンバーの全ての方がこの気持ちを持ってチャレンジしてほしいのです。これがトレーニングだと思います。失敗は成功のもとです。私も色々悩んだことがありますがその時その時助けてくれるワイズメンが必ずいてくださいますので心配はいりません。

またクラブとして、「ワイズ」を考える時間が必要です。ワイズを正しく知り新しいメンバーを誘うことが大事です。2000推進チームが作成した「入会オリエンテーション」を自クラブ用に編集するのもひとつのアイデアです。

3月11日に起こった東日本大震災、いまだに不明の方々や原発の不安がありますが、こういう時こそ「ワイズメン」として共に活動できるという事をありがたく思います。震災の次の日、西日本区では次期会長主査研修の開催日でした。同日に開催されるはずだった東日本区は、中止になりました。仁科理事はじめ皆さんがこういう時だからこそ、頑張るって東日本区を応援しようって心ひとつにまとまりました。研修は、次期方針に沿って7月1日に一斉にスタートをするためと、またワイズメンズクラブの基本・理論を学ぶ場です。そして、一番友の出来やすい社交場でもあります。

今期でLD委員長としての任期も最終期で皆様の暖かいご支援ご協力のおかげで何とか頑張れ、とても多くのことを学ばせて頂きました。「やってみなくては」得られなかったものです。まずは、自己研鑽、自分に対してチャレンジです。まず「やってみなくては！」

会長主題

豊かな心を求めて
YMCAと共に

Restart!
Aim for double

- 会長 森 伸二郎
 副会長 三村 良行
 小泉 洋
 書記 岡西 博司
 会計 永濱 貴章

4月例会案内

10日(日) ファミリー例会
 近鉄特急に乗って奈良町ウォークに出かけます。古都奈良の古民家が残る町並みを楽しみます。

20日(水) 通常例会
 今期も残り少なくなった通常例会、是非、あなたの友人知人を例会にお連れください。

例会出席	
3月第1例会	14名
3月第2例会	14名
在籍者数	15名
出席率	100%
前回出席修正	

BFポイント	
切手	0pt
現金	0円
累計	2,930円

ニコニコ	
3月第1例会	0円
3月第2例会	0円
累計	49,500円

ファンド	
	0円
累計	314,4650円

強調
月間

Yサ・ASF

YMCAの歴史に学び、使命を理解して、サポートの体制を強化しよう。

亀浦正行 Yサ・ユース事業主任

グランドプリンスホテル京都ローズルームにて午後7時から3月第一例会が開催されました。ゲストスピーカーに、「プロフェッショナル仕事の流儀」にもご出演された田村恵子先生をお迎えしての例会で、ゲストや他クラブからのビジターの方も多数お越しになり総勢40名超という普段とは違いとても活気のある例会でした。田村先生は、淀川キリスト教病院ホスピスでがん看護専門看護師をされています。私も、田村先生がご出演された番組を拝見しましたが、直接お会いした雰囲気はテレビでの雰囲気とは異なり、日々人の死に直面する過酷なお仕事をされているような方には見えませんでした。

田村先生のお話は、日本における死亡原因でもっとも多いのが「がん」であり、日本人の2人に1人が「がん」になっているという内容から始まりました。ふと周りを見回せばそこそこお歳を召された方が大勢……。みなさん健康にはお気を付け下さい！ また、田村先生のお話がホスピスや患者さんの話になると普段聞くことのできないようなお話を戴きました。田村先生が普段働いておられるホスピスでは、「自分の死に直面するという最も難しい旅において患者を保護し安楽を提供する」ことを理念とし、終末期がん患者一人一人に身体的苦痛のみならず精神心理的苦痛等を含めた全人的な苦痛に対する緩和ケア、またその家族への緩和ケアをされています。

人には寿命があるものの、私達は普段死を意識して生活することは殆どありませんが、ホスピスにおられる終末期のがん患者の方は、いつ来るかわからないがすぐに訪れるであろう死と向き合いながら生きておられます。その恐怖・絶望感は想像し難いものがありますが、その方たちを支える看護師という仕事はそれ以上に大変なのではないかと思えます。しかし、日々死と向き合っている田村先生ですが、ストレスはあまり感じていないと仰っておられました。それは、人の死に直面することは辛いけれども、人の死を最後まで見届けることによりそれを乗り越えられるとのことでした。

人は身近に死を感じるようになると最も大切なことを始めなくてはという思いになるし、真実なもの、価値のあるものを求めるようになります。自分の死に向き合ってはじめて生きることに對する「問い」が生まれ、その「問い」に向き合うことで生きることを意味を見出し、希望を紡ぎ始めます。つまり、すぐに訪れるであろう死に直面し、自らの生を深く考え、生きることを意味を見出している方たちに囲まれて過ごすことで、田村先生は通常の仕事では感じることでできない充実感を感じておられるのだと思えました。田村先生が最後に仰っておられた、「死はすべての人に必ず訪れる真実 死について考え向き合うことで 命の尊さや生きることの大切さを感じるようになってくる」という言葉は、死を意識せず普段何となく生活している私達にとって、一番大切にしなければならぬ言葉なのかもしれません。



第二例会 メンバースピーチ

2011年3月16日
三村 良行 ys

本日は通常例会、森会長の開会点鐘で始まりワイズソング斉唱、会長挨拶、役員会/委員会報告と開会のセレモニーが続き、その後に臨時総会が開催され次々期会長に小野敏明ワイズが満場一致で承認されました。

小野ワイズは、わがメンバーの中でも2番目に若く30代、将来のプリンスクラブを支えていただけるメンバーの一人です。子供がまだ幼少で瑞穂メネットへの負担増が心配されますが、メンバー丸となり協力させて頂きますのでよろしくお願い致します。小野ワイズの新しい感性でクラブを導いて頂き、ご家族皆さんで楽しく、そしてご自身にとって意義のある会長期であるように念じております。

そして食事は久々の中華料理を円卓で頂き会話も弾み楽しいひと時が過ぎ感謝します。ただ残念なことにこの日の出席者が8名でさびしい思いもありました。食事終了後、参加メンバー全員による5分間のメンバースピーチまずそれぞれのランチョンバッチが司会者により集められスピーチの順番は抽選で決定、スピーチの内容もドライバー委員会が考えられたお題に基づきその場で考える方式でした。1番目に登場は西村ワイズでお題は「私の抱負」プリンスクラブの元気印である方なので勢いのある抱負を聞かせていただきました。2番目は私で「休日の過ごし方」でした改めてお題をいただき考えてみると最近はまだ漠然と無駄に休日を過ごしていることに反省。その後小泉ワイズ「思い出の土地」、廣井ワイズ「素敵な出会い」、岡西ワイズ「私のチャレンジ」、小野ワイズ「今一番ほしいもの」、森会長「私のこだわり」、そしてトリは永濱ワイズ「最近感じたこと」とそれぞれが持ち時間をうまく使われスピーチされました。急な指名とお題で5分間話をするのは非常に難しい事ですが日頃ワイズの活動で鍛錬させていただいていることに感謝です！

東広島クラブからの報告

東日本大震災、本当に大変なことがおきました。テレビの映像を見たとき、声も出ませんでした。自然の巨大な力、こんな事が起きるなんて思ってもみませんでした。被災地の方々は大変な思いをしておられるでしょう。どうぞ健康に気をつけてがんばってくださいとエールを送るくらいしかできませんが、何かしたいと思っていた時Y M C Aで救援募金をするとお聞きしたので、ワイズもお手伝いさせてほしいと3月24日一緒にいたしました。少しでもお役に立てればとの願いで声を上げてお願いいたしました。たくさんの方の応援をいただきました。



少し汗ばむ程の好天気恵まれた3月13日(日)に参加児童6名、マイ・マイスタッフ5名、プリンスメンバー3名で大文字山から蹴上までの京都外周トレッキングコースをトレッキングしました。また途中、“日向大神宮”休憩ポイントに於いてプリンスメンバー1名、メネット1名による“ぜんざい”の提供を行いました。

約6時間、距離10Kmのトレッキングコースを児童、マイ・マイスタッフと共に歩き、大文字山登頂の達成感を共有すると共に、昼食(お弁当)を共に食べ充実した時間を過ごす事が出来ました。トレッキング自体は問題無く予定どおり進行し、トラブルも無く終了したので、特に支援の必要はありませんでしたが、共に参加し無事終了し交流をもてた事に大変意義があったと思います。また、休憩場所における“ぜんざい”の提供は前日からの材料の準備に続き当日、現地にて調理し温かい“ぜんざい”を提供。疲れた体に、甘いおやつを提供でき、好評のもと終了する事が出来ました。

今期、プリンスクラブでは、何か継続性がありクラブの柱になるCS事業を確立する事がクラブの活性化、メンバーの増強になると考えました。そこでクラブメンバー2名が個人的にサポートし続けている聴覚障害支援団体“マイ・マイ”に対しクラブを挙げてサポートすることに決定しました。そこで今回初めて“マイマイ”スタッフと共に大文字山トレッキングに参加し、今後どのような形で支援を継続して行くかを考える上での足がかりが出来たと思います。(参加メンバー)森、小泉、三村、三木、森メネット



東日本大震災緊急救援街頭募金

2011.3.27
森 伸二郎 ys



午後1時、京都YMCAに200人に迫る参加者が集まり、まずホールで、今回の緊急支援募金の趣旨説明が行われ、そのあと河原町御池・三条・四条、烏丸御池・四条、三条・四条大橋、そして京都YMCA前の8か所の街頭募金場所へと散らばりました。

プリンスクラブは、烏丸御池が担当場所。キャピタル、センチュリー、めいぶるクラブのメンバーが集まって来られ、一か所では人数的に多いので、北西角と南東角の2か所に分かれて街頭募金を開始。今回はかなりの反応があると期待していたのですが「東日本大震災支援募金をお願いします」と声を張り上げて言っても、通る人はあまり反応がありません。いつもの国際協力募金でも、もう少し反応があるのになぁ・・・と思いながら、腰のだるさと寒さに耐えて2時間、街頭募金を続けました。今回の反応の悪さは、震災発生から2週間以上が経つのでタイムリーでなかったのかなぁ。「すでに募金はしたよ」という声も聞かれました。街かどの反応の悪さは、我々の場所だけではなかったよう。ちなみに今回集まった募金総額は60万円弱でした。

腰のだるさと寒さに耐えて2時間、街頭募金を続けました。今回の反応の悪さは、震災発生から2週間以上が経つのでタイムリーでなかったのかなぁ。「すでに募金はしたよ」という声も聞かれました。街かどの反応の悪さは、我々の場所だけではなかったよう。ちなみに今回集まった募金総額は60万円弱でした。

今回の緊急支援街頭募金で集まった募金の一部は、YMCA同盟を通じて被災地のYMCAに届けられ被災者支援活動に使われ、また残りの一部は、京都災害ボランティア支援センターを通じて被災者支援活動に使われます。この様にYMCAに集まった募金は、復興の支援活動に使われ、被災者への義捐金とはなりません。プリンスクラブとしては4月第二例会にて募金箱を廻し京都YMCAの募金に協力します。目標30万円、宜しくお願いいたします。

東京サンライズクラブからの報告

東日本ではとんでもないことが起こり、ワイズのいろいろな行事がすっ飛んでしまいました。

3月のサンライズの第二例会は、恒例のお散歩例会の予定でしたが、東京電力の計画停電の影響もあって電車の運行の予定がつかめず、急遽持ち寄りのポトラック例会になりました。3月27日の3時に我が家に集まっていただき、最初は静かに地震の時の互いの体験談を。そして第二例会として大震災へのクラブとしての対応、プリテン原稿の割り振りなどを話し合いました。その内にぎやかに話の輪が広がり、飲んで、食べて、夜の10時半まで楽しい時を持ちました。

3月11日に東北地方の太平洋沖で起きたマグニチュード9.0の大地震は、地震の後に

起こった大津波によって太平洋沿岸各地に未曾有の被害をもたらし、多くの尊い命が失われました。また避難して生き延びた多くの人々も家と家財の一切を波に奪われ、生活の基盤をなくしたまま避難所での生活を余儀なくされています。多くの避難所の中には支援の手も届かず、ライフラインもなかなか回復しない中で耐えておられます。京都YMCAでは、この災害で亡くなられた方の為に祈りを捧げ、被災された方々の為に支援の働きをしたいと思えます。

全国のYMCAでは、阪神大震災のときと同じように、全国のYMCAと共同で被災された方々の支援のために「東日本大震災緊急支援募金」を開始いたしました。この募金は日本YMCA同盟を通してYMCAの行う被災者支援プログラムや被災者への支援物資に当てられます。

震災直後は、水道や食糧の確保、電気などのライフラインの確立や通信の回復などが最優先ですが、しばらくたつと精神的なストレスから来る体調不良など様々な問題が起きてくるのがこれまでの経験から知られています。また被災地の復興に欠かせないがれきの除去や、障がい者や外国人、独居老人など支援の手が及び難い人々への支援も必要となり様々なニーズが生まれてきます。YMCAでは当面の緊急支援だけでなくこれらの中長期の復興支援を視野に入れて支援活動を展開していきます。

今回の震災は、安全や便利な生活が当たり前だったわたしたちのこれまでのライフスタイルが問い直されているとともに、社会の危機に際し見ず知らずの人々がお互い助け合い協力することができるかどうか試されているのではないのでしょうか。

YMCA・ワイズメンズクラブの連帯によってこの未曾有の困難に立ち向かうことを誓い、一日も早い安全の確保と復興のために、力をあわせて歩むことを決意するものであります。皆様の尊いご支援とご協力をお願いいたします。

1. 東日本大震災緊急支援募金

京都YMCAでは、このたびの大地震で困難な状況にある人々を支援するために、緊急支援に取り組みます。皆様からいただく募金は、日本YMCA同盟と協力して、被災地にあるYMCAを通して被災された方々を支援するための活動に用います。また、京都YMCAが加盟している京都災害ボランティア支援センターが行う被災者支援活動にも用いられます。

緊急募金期間 4月30日(土)まで

募金の方法 京都YMCA 1階窓口にお届けいただくか、郵便振替でご送金ください。

郵便振替 口座番号01050-7-19132

加盟者名 京都YMCA奉仕活動基金

通信欄に「東日本大震災」と明記してください。

奉仕活動基金のご協力をお願い

2. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申しあげます。おかげさまで今年も25名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきます。

3. 奉仕活動基金のご協力をお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、障がいを持つ人々への援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただきます。今年も下記のとおり行いますので、ご協力くださいませうお願いいたします。

キャンペーン期間 2011年4月~6月
1口募金額 1,000円(何口でも結構です。)納入方法 京都YMCA受付または、郵便振替で
4. 第7回 京都YMCA かもがわ チャリティーラン 参加者・スポンサー(協賛金)募集中!
チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

日時 5月22日(日) 午前9時~午後3時 雨天決行
場所 鴨川公園(特設コース:北大路橋~出雲路橋 1週1.7km/北山橋~出町橋 1週5.1km)
種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000円)/グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円)/一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生・生徒1名1,000円)/ペアラン(1チーム1,000円)
スポンサー募集 趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口 10,000円(企業・団体) 一口 5,000円(個人)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

5. リトリートセンター第12回夜桜フェスタ

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。ライトアップされた幻想的な八重桜の下で、様々なイベントをおこないます。

とき 2011年4月17日(日) 午後5時~8時

ところ 京都YMCAリトリートセンター

集合・解散 現地 JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり事前に事務局にお申込みください。

参加費 大人(中学生以上)2,000円・小学生1,000円・幼児無料 チケットは三条本館にて販売中

6. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第51回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 4月16日(土)午後7時~9時 場所 京都YMCA(三条柳馬場) 参加費 お一人300円(お茶代等) お

申込は下記お電話または vb@kyotoymca.or.jp まで

全てのプログラムに関するお問合せ・お申し込みは 電話(075)-231-4388 FAX(075)-251-0970 E-Mail kyoto@ymcajapan.org

Happy Birthday

April

24日 毛利 隆志

28日 永濱 貴章

今月のスケジュール

4月

10日(日) 第一例会 ファミリー例会

13日(水) 三役会 会長宅

17日(日) YYフォーラム リトリートセンター

17日(日) 夜桜フェスタ リトリートセンター

20日(水) 第二例会 グランドプリンスホテル

27日(水) 役員会 京都YMCA

役員会報告

<承認された議案>

金丸ワイズ、疾病につき休会とする
ファミリー例会費補助金から10万円を東日本大震災救済募金とする

ファミリー例会登録費 メン:無料 メネット・コメント大:4500円 コメント小:実費 メンバー候補:3000円 ゲスト:5000円とする